

会報

地域とつながるロータリークラブ



2020.01.22 第1338回例会 No.30-22 2020.01.29発行

◎司会 SAA・親睦委員 吉沢 洋景

◎次年度会務報告 会長エレクト 峯岸 忠

◎開会点鐘 会長 入沢 修自

本日例会終了後に、第1回目の被選理事会を事務局にて開催します。
次年度の役員、理事の皆様はご出席をお願いします。



◎ロータリーソング「それでこそロータリー」
ソングリーダー 菊池 敏

◎お客様紹介 会長 入沢 修自
岡山西南ロータリークラブ 椎原 裕二様
東京八王子北ロータリークラブ 鈴木 秀男様

【委員会報告】

◎出席報告 出席奨励委員会 菊池 敏

会員総数	28名
出席義務免除者	6名
出席者数	16名
出席義務者	16名
出席免除者	6名
計	22名

出席率 22/28 = 78.57%

◎会務報告 会長 入沢 修自

【第7回理事会の報告】

- ①新会員候補者を承認しました。
- ②2019年標準定款第10条第5節(a)により、村上久会員の出席規定適用を、寿例会に遡り免除しました。村上会員はこれまで皆出席のため、お元気になられてご復帰されましたら、引き続き皆出席を継続していただきたいため、本議案を承認しました。
- ③多摩東G第1回懇親ゴルフコンペに杉山真一会員、大槻一夫会員、菊池敏会員にご出席いただきましたので、クラブの財政状況もあるのですが、助成していくことで承認しました。
- ④クリスマス例会の決算報告を承認しました。
- ⑤3/1(日)に消防少年団と共同で、昨年にも実施いたしました「春の火災予防運動パレードのご案内が来ています。次回例会で出欠の回覧をいたしますので、ご出席のほど宜しくお願いします。

◎ニコニコBOX

SAA・親睦委員 萩生田政由

椎原 裕二様
アケオメです。今年もよろしくお願ひします。

入沢 修自 椎原様鈴木様お二人ともいつもお世話になります。

峯岸 忠 いよいよスタートです。宜しくお願いします。お世話になります。

足立潤三郎 先程、旅行社の方にラオス訪問の話聞いて来ました。椎原さんようこそ。

大松 誠二 こんにちは、まだ寒いですね。

菊池 敏 お客様ようこそ!

森本 由美 八王子北鈴木さま、椎原さま本年もどうぞよろしくお願ひします。

鈴木 俊之 いよいよ寒くなってきました。皆様 体調管理にお気をつけて下さい。



◎幹事報告 幹事 田崎 博実

本日は遅刻をしてしまい申し訳ございません。

- 【配布物】
- ・新会員候補のお知らせ
 - ・クリスマス例会決算報告
 - ・東京多摩RC50周年記念誌

- 【回覧】
- ・ガバナー月信1月号
 - ・ハイライトよねやまNo.238

他クラブ例会変更は事務局にお問い合わせください。

大槻 一夫 クラブ創立 30 周年記念に向けて微力ながら取り組みます。
 伊澤ケイ子 今日は寒いですネ。
 伊藤 綾乃 今年はもう少し出席率をあげたいと思います。
 初野 有人 新しい車を買います。
 杉山 真一 何もないですが・・・・・・
 守田 亨 梅雨のような天気になりそう？
 関岡 俊二 お客様ようこそ。
 萩生田政由 椎原様ようこそ！

本日の合計¥24,000 (累計¥485,003)



◎卓話「クラブ30周年記念に向けて」

★創立30周年記念実行委員長 吉沢 洋景

当クラブは今年で30周年となります。
 5周年は、明治大のマンドリン クラブ楽団による、チャリティーコンサートを行いました。
 10周年は、早稲田大学の吉村教授にエジプトの発掘に関する記念講演をしていただきました。
 15周年は、ロタ・キッド少年少女合唱団の結成とお披露目を行い、「心の歌」を合唱していただきました。
 ロタ・キッドはロタ・フェローと称して将来性のある個人や団体を応援していこうということが目的で、それが20周年の「障がい者テニス」に発展しました。
 25周年は、多摩の自然等「多摩自慢」を行いました。
 私は、周年事業は、それぞれのクラブで出来ることをすればいいと思っています。会場の入り口に、「入りて学び、出でて実践せよ」とのフレーズがあります。RC奉仕活動は、奉仕の見本であり、それを学びなさいということです。
 それを会員が世に出て実践することだと思います。
 「We serve」、「I serve」とある中で、RCの奉仕理念は「I serve」でなければいけないと思います。これに従い、当クラブはロタ・フェローとして素晴らしいことを実施してまいりました。
 代表が赤尾様の「ラオ・フレンズ」への奉仕事業です。

★創立30周年記念副実行委員長 足立潤三郎



先ず、本日、30周年記念事業に関する、「第2回目の統括実施委員会」を開催します。各委員長の皆様は宜しく申し上げます。吉沢実行委員長よりお話がありましたが、当クラブの30周年記念事業に講演をしていただく、

当クラブと非常に関わりのある、「赤尾和美様」のお話をさせていただきます。赤尾和美様は、当クラブのチャーターメンバーである赤尾様の姪御さんです。赤尾様より「カンボジアで看護師をして頑張っている姪っ子がいる」とのお話を伺ったことが始まりでした。そのときの感動的な話、献身的な働き、日本の戦後を思

わせるような現地の困窮した状況を伺い、当クラブも国際奉仕に参入する絶好の機会ではないかということで実質的な行動を模索することになりました。
 2012年度には、アンコール小児病院へ「子供向けの遊具」の贈答、2013年度には、「I serve」として、個人支援を継続していく形に変わりました。
 同年、ロタ・フェロー委員会が立ち上がり、メンバーとして、1組織（ロタ・キッドクラブ）3個人（赤尾和美様・彫刻家のキム様・障がい者テニスの西村様）でしたが、現在は、2個人の「赤尾和美様」と「キム様」となります。このお2人は大変重要なメンバーであると思っています。そのお1人である「赤尾和美様」に講演をお願いすることに至りました。
 余談ですが、赤尾様もキム様も近い将来に名声を残されると予想しており、当クラブも全国的に誇れるクラブになるのではないかと考えています。
 2014年年度を経て、2015年度の25周年記念では、献金支援を行いました。2016年度から本日現在まで、針の無い注射器の進呈を行っています。
 このように10年来の関係を保っている赤尾和美様が、30周年記念事業で講演を行っていただくことに大変意義があると思います。会員の皆様、一致団結で何卒ご協力のほどお願い申し上げます。

★創立30周年記念事業委員長 関岡 俊二



赤尾さんが所属している「フレンズ・ウィズアウト・ア・ボーダー JAPAN」は、現在赤尾さんが代表を務めています。カンボジアは、アンコールワットの普及がとても賑やかですが、少し村に入ると

大変貧しい状態です。かつてのポル・ポト政権の時代には、最終的に医者さんがたった35人しか残りませんでした。それでは子供達はお医者さんには診て貰えず、祈祷師が呪術するという杜撰な医療体制でした。赤尾さんは2011年に当クラブに卓話にお越しいただき、当時のカンボジアの困窮、衛生の状況等のご苦労をお話いただきました。私も約10年に渡って支援をしていますが、金額ではなく続けることが大切だと感じております。2月にラオスに行きますが、赤尾さんに支援をしたいと思っていますので、献金をお願いします。また、9月の記念事業に向けて色々な案をいただき、成功させたいと思いますのでよろしくお願い致します。

★創立30周年記念式典委員長 大松 誠二

2月に数名でラオスに行きますが、赤尾さんに寄付等をしたいと思っていますのでご協力をお願いします。過去に対人地雷にて義足を要する子供達へ寄贈している施設に寄付を行ったこともあります。継続的なご支援のご協力をお願いします。

◎閉会点鐘

会長 入沢 修自

(今週の担当 守田 亨)